



日刊動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合
〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話(鉄電) 千葉 2935・2936番
(公) 043(222)7207番

92.8.13 No. 3641

狭山差別裁判糾弾! 上告棄却15ヶ年弾劾!

無実の石川一雄を奪返せ!



8・9千葉刑闘争に決起!

30回目の夏を迎えた獄中の石川一雄に激励のシュプレヒコール

部落解放同盟全国連合会関東ブロックと全国労組交流センター関東ブロック共催による「狭山千葉刑闘争」が、八月九日、一三時から千葉中央公園で行なわれた。

集会は、関東各地から結集した全国連と交流センターの仲間たち五八〇名による「石川一雄さんを奪還するぞ」「狭山差別裁判糾弾」の力強いシュプレヒコールで開始された。

主催者を代表してあいさつに立った茨城県連の石川委員長は「われわれこそが石川一雄さんを奪還できる。『狭山』こそ差別の原点だ。差別と戦争を許さず、一人ひとりが主体となって組織を磐石にしてゆこう」と、県連丸ごとの決起をかちとった自信に満ち溢れた

力強い言葉で語った。

つぎに、交流センター代表である動労千葉中野委員長から呼び掛け人のあいさつがおこなわれ、「部落差別とは労働者の問題だ。われわれは、部落解放運動を学び取り、狭山闘争の再構築をかちとるために闘いぬかなければならない。PKO闘争と固く結合して戦いぬく」と、これまでの既成労働運動の限界を乗り越え、「部落の解放なくして労働者の解放なし」という立場に立ちきり、全力をあげて奮闘することが訴えられた。

さらに、全国連中央本部の中田書記長から「三〇年間獄中で闘う石川さんの闘いに責任を持ちきる組織として新組織を結成した。五万人の同盟建設をかちとろう」と意のべられた。

訴えられた。

連帯のあいさつでは、結柴杉並区議、反対同盟の伊藤信晴さん、北富士忍草母の会、婦人民主クラブ全国協議会、全学連の仲間たちからそれぞれ全国連と共に闘う決意のべられた。

新看板掲出



上、中野委員長を先頭に全国連と交流センターの仲間たちとともに集会に聴き入る動労千葉組合員。下、石川一雄に激励の力強いシュプレヒコールを上げる交流センターのデモ隊

一九七七年八月九日の最高裁上告棄却から一五年、デッチ上げ逮捕から三〇回目の夏を迎え、石川一雄さんの無実はますます明らかになるばかりである。権力による部落差別を徹底的に糾弾し、不屈に闘う石川一雄さんを絶対に奪い返そう。全国連の仲間たちとともに闘いぬこう。

特別報告では、全国労組交流センターからPKO出兵阻止へ向けた今秋闘争の方針が提起され、全国連からは杉並の戸籍課長による差別発言に対する糾弾闘争報告が発した。

基調報告では、とくに職場・地域・学園で共闘会議の結成をかちとることが訴えられた。

カンパアピール、石川さんからアピールの後、東京交流センター、動労水戸、全国連荒本支部、長野県連(準)、江戸川支部、群馬、茨城、青年対策部、関東解放研などから力みなぎる決意が表明され、全員による団結ガンパローの後千葉刑務所に向けてデモに出発した。